

学校におけるマスク着用について文科省の見解

以下の点につき、文部科学省 初等中等教育局 健康教育・食育課 ご担当ミヨシ様に電話で確認しました(2021年4月7日)

- 『新型コロナウイルス感染症に対応した持続的な学校運営のためのガイドライン』および『新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～』の责任担当部署である

- 文科省としては:
 - 「児童が息苦しさを感じているときにでも必ずマスクを着用させるように」とは、通知・案内していない。
 - 児童に応じた対応をするように、とお願いをしている。
 - 熱中症のリスクがある状況でなくとも、児童本人が息苦しさを訴えるようなら、外すこともやむを得ないという認識。
 - ガイドラインでは、「幼稚園において特に留意すべき事項について」の章で、「本人の調子が悪い場合や、持続的なマスクの着用が難しい場合は、無理して着用させる必要はない」と記載している。入学間際のお子さんについては、小学校の先生にも、この考え方にならってしばらく様子を見てもらいたいと伝えてくださって結構
 - 高学年の子どもについても、「息苦しい際にはマスクを外す対応をしてください」とお願いしている。
 - 子どもの健康や、子ども本人が抱く違和感・危機感に応じた対応が第一、という立場である。